

各位

首都大学野球連盟
会長 松前 義昭

2020年度首都大学野球秋季リーグ戦の開催について

この度の新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、全国の医療現場において感染予防や治療に尽力されております医療関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

日本中にまん延しております新型コロナウイルスの感染状況は、政府の分科会の見解では、全国的には今回の感染拡大はピークに達したと考えられるが再び増加する恐れがあり、引き続き注意が必要と指摘しております。東京都ならびに周辺の県におきましても、感染者数の減少傾向はみられるものの、リスクの高い高齢者に感染が広がっているとの分析結果も報告されております。大学の課外活動状況は徐々に活動が再開されておりますが、運動部寮でのクラスターが発生し、活動が制限されている大学も見られております。大学のスポーツ大会も中止を決定している種目も報道されております。

このような状況下において、当連盟におきましては2020年秋季リーグ戦開催にあたり運営検討委員会を3回(7月30日、8月17日、8月25日)、常務理事会を3回(8月4日、8月18日、8月27日)開催し、長時間にわたり秋季リーグ戦の開催について議論をいたしました。各回の決定事項に関しましてはホームページ上で簡単ではありましたがご報告いたしてまいりました。試合の日程・方法につきましては8月19日にご報告いたしました通り、加盟大学に課外活動が再開されていない大学も見られ、1部と2部の開幕日を別として1回戦総当たりで開催することといたしました。また、継続審議となっております入れ替え戦は、実施することにより出場辞退を恐れ、体調不良者や感染の申告が遅れたり隠したりすることにより、クラスターが発生した場合の社会的責任は個人、チーム、大学、連盟としても計り知れない。また、感染した個人が非常に大きな責任を感じてしまうことも予想され、これは絶対に避けなければならないと判断し中止といたしました。入れ替え戦を実施しないと決断しましたが、1部大学と2部大学の交流戦を年内に実施する予定とし、詳細については運営検討委員会で検討することとしております。

観客動員につきましては、首都大学野球を観戦するのを楽しみにしておられましたファンの皆様からたくさんの要望を頂きました。委員会におきましても長時間かけて検討いたしました。感染リスクを最小限に抑えるため、観客数を制限し、チームに所属する部員、保護者、大学関係者、野球部OB、後援会、スカウト、メディア、大学広報担当者のみ入場可とし、入場については、感染予防を考え以下の①～⑤の決まりを守り、遵守できない場合は、次の試合に入場することは認めない。としております。

①チームに所属する部員、保護者、大学関係者、野球部OB、後援会については、各大学で事前に入場者を把握し連盟に申告する。②各大学の観客の入場者数については、使用する球場により条件が異なるため、試合ごとに事前に連盟より各大学に入場可能な人数を連絡する。チームに所属する部員と保護者、大学関係者、野球部OB、後援会の人数の内訳については、各大学で調整する。③各大学は、観客(チームに所属する部員と保護者、大学関係者、野球部OB、後援会)を管理する責任者を配置し、試合当日は連盟の指示に従い、その責任者が各大学の観戦者を管理する。④第2試合以降の観客(チームに所属する部員と保護者、大学関係者、野球部OB、後援会)は、原則、前の試合の7回以降に入場可とするが球場により動線・観客席数等により変更する。入場後は観客席内の指定のエリアで待機させることにより、試合の入替時に入場口や球場周辺が密になることを避け、他の大学の部員や外部者との接触ができないようにする。⑤観客席では、応援席エリアで観戦し、試合終了後はしっかりと消毒を行い速やかに退場する。次試合を観戦することはできないといたしました。連盟では運営にあたり詳細なガイドラインを作成し、首都大学野球連盟ホームページに掲載し所属各大学に感染予防を周知徹底していただくこととしております。ご一読いただければ幸甚です。なお、球場において観戦できない皆様には1部全試合、2部順位決定戦の3試合をネット配信することといたしました。ご覧いただきたいと思っております。

2020年度の秋季リーグ戦は以上のように運営を行ってまいりますので、何卒、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。